

藤田早苗さんと 国際人権の基準で考える

私たちの人権意識と貧困・報道・差別

2023年2月10日(金) 18:30~20:30

こうち男女共同参画センター3階【大会議室】

高知市旭町3丁目115番地

参加費無料(定員150名)



お申込み

右のQRコードを読み取り、お申し込みください。

講師：藤田早苗 英国エセックス大学人権センターフェロー。博士（国際人権法）。アカデミック・アクティビスト、写真家。大阪府出身、英国在住。特定秘密保護法案（2013年）、共謀罪法案（2017年）を英訳して国連に通報しその危険性を周知。2016年の国連特別報告者（表現の自由）日本調査実現に尽力。



武器としての国際人権

日本の貧困・報道・差別

藤田早苗

Fujita Sanae

G7で
一番目に高い
日本の
相対的貧困
人権機関に
通報された
特定秘密保護法と
共謀罪
国連から
問題視されている
女性差別と
入管法
すべて、
人権の
問題です！
推薦！
望月衣留子
中野晃一

集英社新書

私たちは、生活のあらゆる場面において人権を「行使」しています。しかし、国際的な人権基準と照らし合わせてみると、日本では人権が守られていません。

コロナによって拡大した貧困問題、損なわれ続ける報道の自由、なくなる女性差別や入管の問題……

そうした問題の根幹には、政府が人権を保障する義務を守っていないことにあります。その状況を変えるためにはどうすればいいのか。

国際人権機関を使って日本の問題に取り組むことの第一人者である著者が実例を挙げながらわかりやすく話します。

問い合わせ

fujitasanae0210@gmail.com（事務局）